

今こそ、 もっと 書写を。

新・書写の力



教授用資料

〈新・書写の力〉
今こそ、もっと書写を。

発行者：吉田直樹
発行所：光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話 03-3493-2111（代表）
印刷：協和オフセット印刷株式会社
デザイン：陽々舎
イラスト：長場 雄 ホリグチイツ
写真：PIXTA

光村図書ウェブサイト

光村図書

検索



光村図書



K2204352

この冊子は、森林を保つために
切った「間伐材」を利用して
作られた紙を使っています。



文字を大切にすること、
人の心も大切にすること。

かい り え こ
甲斐利恵子
軽井沢風越学園教諭



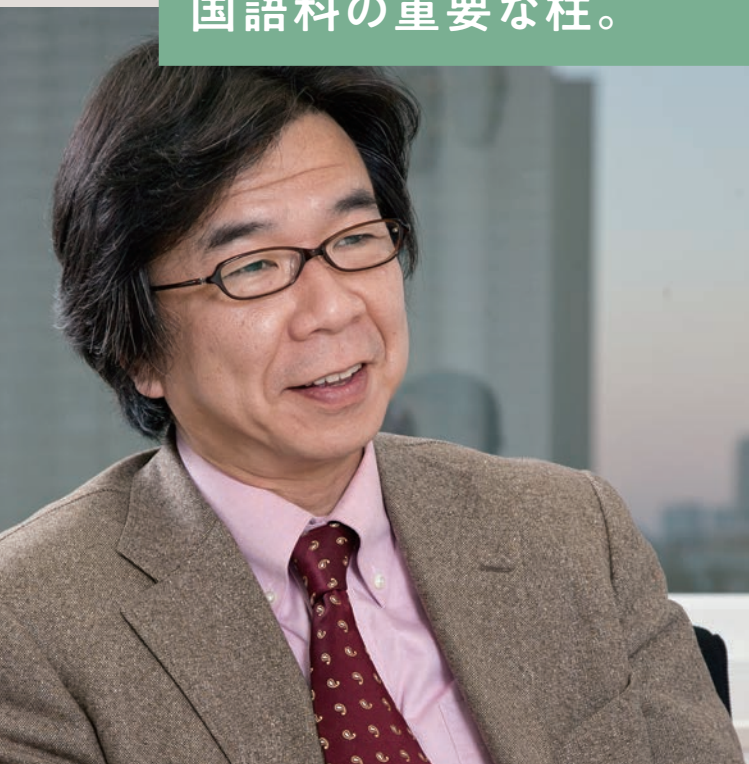
写真:朝日新聞社

「書けた!」という喜びが、
達成感や成就感になる。

ふじ い こう じ
藤井浩治
元広島県尾道市立御調西小学校校長

たか ぎ
高木まさき
横浜国立大学教授

書写は学習の基本であり、
国語科の重要な柱。



おお たに とし ひこ
大谷俊彦
元高知県高知市立城東中学校校長

書写の学びを、他教科や
実生活に生かしてほしい。



光村図書「中学書写」編集委員が語る 書写の力

書写の力を、
信じる。



書写が文字文化の継承を
担っていく。

ひ ぐち さき こ
樋口咲子
千葉大学教授

まつ もと ひと し
松本仁志
広島大学大学院教授

相手意識が、
文字を変える。



今、なぜ 書写を学ぶのか。

宮澤 正明

みやざわ・まさあき／山梨大学名誉教授。
光村図書小・中学校書写教科書の編集委員を
長年にわたり務める。

書写学習の意義

今、デジタル化が急速に進む社会の中で、
手で文字を書く価値や、書写を学ぶ意義が
問われ始めています。

しかし、私たちの日常は文字なくしては
成り立たず、学校教育の現場から「書く」
行為が消えることはありません。

書写学習では、「文字の整え方」を学ぶ
ことを通して、あらゆる教科の基盤となる
「書く力」そのものを養い、社会における
さまざまな書字活動に対応できる書字能力

の向上をめざします。

かつての書写学習は、手・指先の技能を
習得する学習と思われていた側面がありま
すが、書写は文字を正しく整えて速く書く
ための知識・技能を習得するだけではなく、
学習を通じて、思考力や集中力、伝達力な
ど、広く「生きる力」を支える能力を養う
ものであると私たちは考えます。書写学習
の意義と光村図書のめざすものは、ここ
にあるのです。

光村図書の 書写教科書がめざすもの

光村図書の書写教科書は、かつての毛筆
教材を中心に据えた教科書からの脱却をめ
ざし、筆使い、字形、字配りなどの原理・
原則を理解する構成にいち早く取り組ん
できました。右ページに配してきた毛筆教材
を左ページに配した構成は、光村が考える
書写理念の一つを反映しています。

一文字の書き方や出来ばえに固執するの
ではなく、あらゆる教科の基盤となる「国
語科書写」としての意義・目標を明確に学
習できるように。そして、「教科書を学ぶ」
のではなく、「教科書で学ぶ」ことができ
るように。改訂のたびに、私たちはよりよ
い教科書をめざして議論し、工夫を重ねて
います。



光村図書・書写教科書ヒストリー

思いや願いを、教科書に込めて。



昭和31年度版

光村図書の最初の中学校書写
教科書。「昭和の三筆」ともいわ
れ、「文字自体が人智の結晶で
ある。」という言葉を残した手島
右卿が監修者でした。



平成14年度版

それまで右ページに配置してい
た教材文字を、左ページに配置
する方針に大改革。「原理・原則
を学び、それを毛筆で確認する」
という学習構造で、光村の書写
理念を体現しました。



平成24年度版

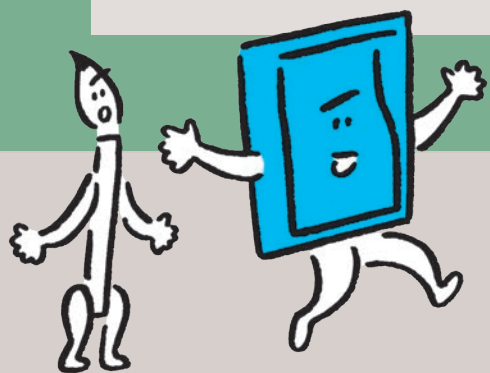
1年から3年を合本にし、学年を
超えた見通しと振り返りができ
る教科書に。コンセプトは「一生
使える教科書」。中学校までに学
習する書写の全てと日常に役立
つ資料を、一冊にまとめました。



令和3年度版

書写の学びを日常に生かすこと
を意識した構成。教科書に初め
てQRコードがつき、動画コンテ
ンツの閲覧が可能に。教科書の
可能性がぐんと広がりました。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



光村の「書写」は、文字の整え方を学ぶところから始まります。
「お手本」よりも「文字の整え方」を大切にするのは、いくらうまく「お手本」をまねても、それ以外の文字は上達しないからです。文字の整え方の原理・原則を学び、他の文字にも広く応用できる「書く力」を育む構成は、光村の大きな特徴です。

光村の「書写」は、
「お習字」じゃないんです。

文字を書き、原理・原則を確かめる。

まず、原理・原則を学ぶ。

令和3年度版「中学書写」p58-59

2 読みやすく速く書くための行書 1年生

点画の変化

【目標】 点画の変化を理解して、行書で書く。

1 考えよう

楷書と行書を比べて、点画（終筆の形）が変化しているところを鉛筆で囲もう。

楷書 行書

大 木

大 木

【主な変化】

行書では、速く整えて書くために、点画の形が変化することがある。

● 右払い

● 縦画

点画の変化

終筆の形は、どの方向に向かって変化しているだろう。

60〜63 「大」「北」「西」「月」「光」

行書の多様な書き方

行書には、楷書に近い形から草書に近い形まで、さまざまな書き方がある。

● 楷書

● 行書

142 「大」「木」

学習の窓

点画の変化を理解し、筆脈を意識して書いた。

別冊10 「点画の変化」

58

3 生かそう

学習したことを生かして、硬筆で書く。

大 木

北 西

月 光

筆を止めたら、穂先が立つのを待って方向を変える。

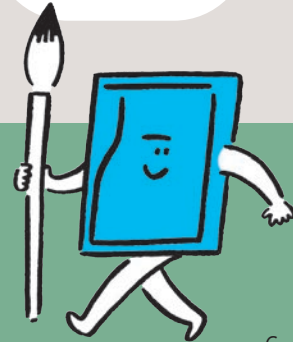
59

3 生かそう
硬筆で書いて、
日常の文字に生かす手がかりとする。

2 確かめよう
「学習の窓」でポイントを整理し、
毛筆で書いて原理・原則を確認する。

1 考えよう
観察や比較を通して、
原理・原則を発見する。

学 習 の
進 め 方



教科書で
文字の整え方を
確認する。

「書写ブック」の
硬筆課題に取り組み、
毛筆での学習を定着させる。



書写ブックp10-11

他字へ生かせるよう、
豊富な書き込み欄を設けました。

教科書に完全準拠した
全28ページの硬筆練習帳。
毛筆での学習を、
しっかり定着させることができます。

取り外して
使える!



ポイント ② 書写ブック

動画で見ると、筆使いがわかりやすい!



紙面のQRコードをタブレット端末で
読み取るだけで、動画や写真等のコンテンツに
簡単にアクセスすることができます。



教科書連動コンテンツ
「広がる学び 深まる学び」

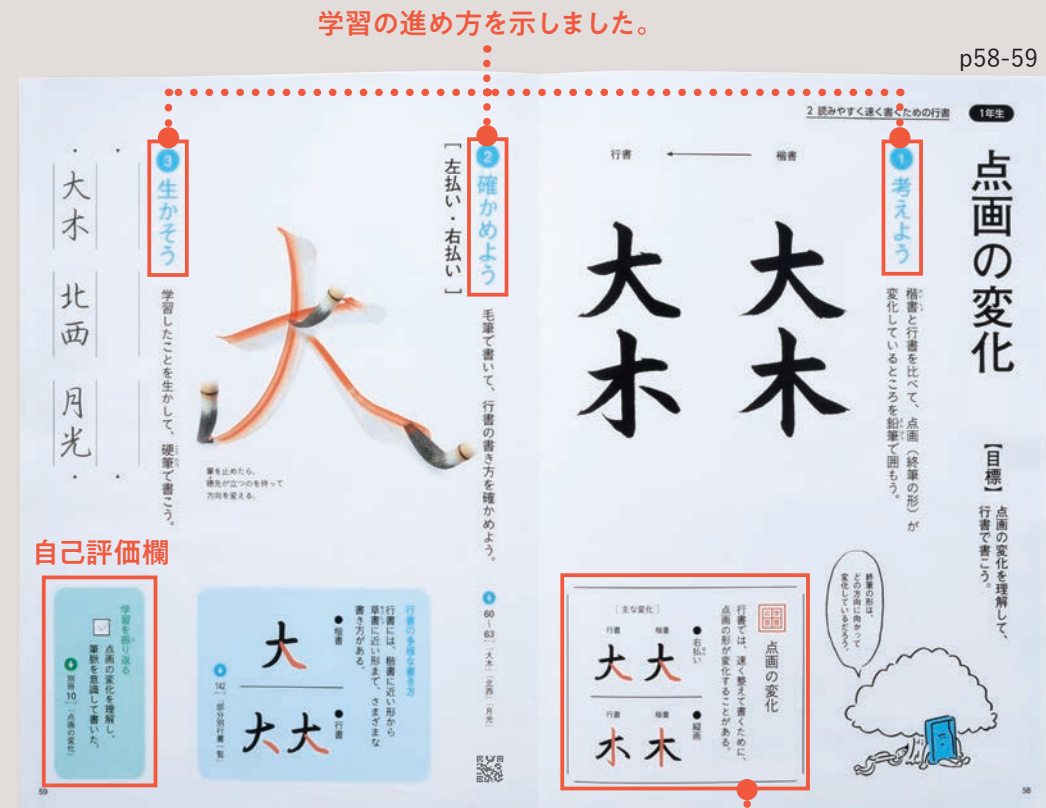
学習の参考となる動画や
写真資料を充実させました。
書写の学びをさらに広げ、
深めることができます。

ポイント ③ QRコンテンツ

光村の「書写」は、ぐんと 「書く力」を伸ばします。

ポイント ① 学びやすい紙面構成

学習の流れがひと目で分かり、何を、どう学ぶかがわかりやすい紙面構成です。
見通しをもって、主体的に学習を進めることができます。



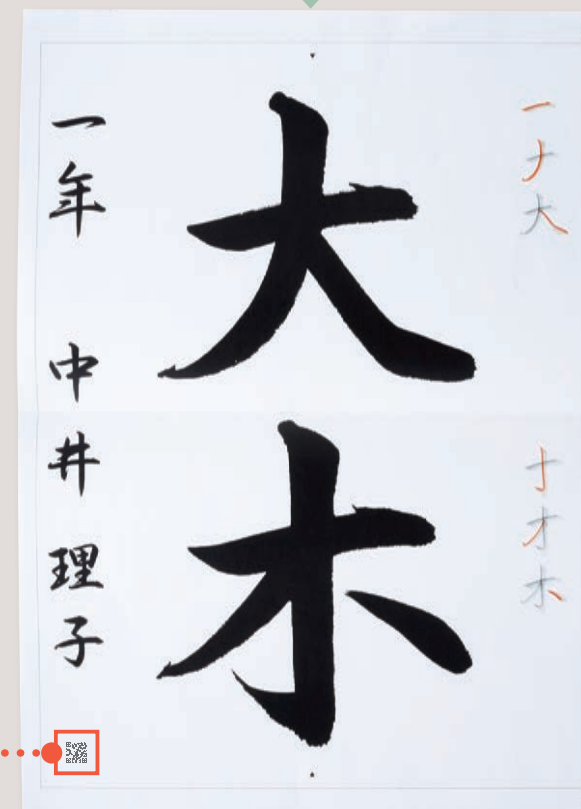
学習の進め方を示しました。

p58-59

自己評価欄

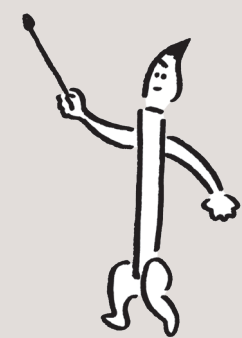
ページをめくると...

「学習の窓」で、
学習のポイントが
ひと目でわかります。



行書の基本的な書き方を
学ぶ教材では、教材文字を
半紙原寸大で掲載しました。

p60-61



ピンチ!

書写の学習を
日常に生かせない!

書写は、あらゆる場面で生きる

国語科の新聞作りや、ノート、メモ帳などで、
学んだことを積極的に生かしましょう。

指導例

- 「ここで書写の学びを生かせるね」など、声がけをする。
- 教科書を見て、生かすことができるポイントを確認させる。
- 清書させる前に、配置・配列を考えさせたり、
さまざまな筆記具で書かせてみたりする。



p82



筆の洗い方を見直そう

固まった筆先は、水やぬるま湯につけ置きすると
柔らかくなりますが、繰り返すと筆を傷めてしまいます。
日頃から筆の手入れの仕方を丁寧に指導しましょう。

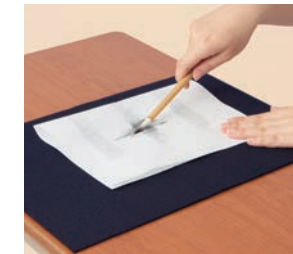
大筆

紙などで墨を丁寧に拭き
取った後、水を流しながら、
穂の根元をつまむようにして
洗うとよい。



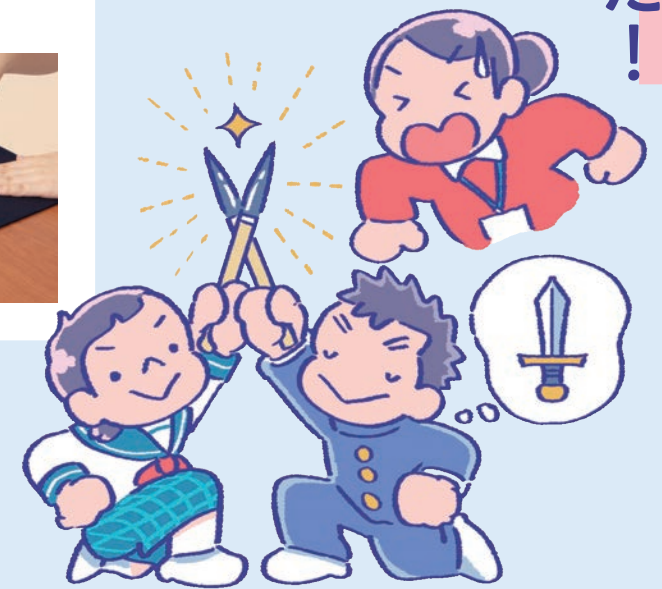
小筆

濡らした紙で、穂先の墨を拭
き取る。
※小筆は、穂先だけおろして
使う。



全力! コーギー
(藤井浩治先生)

遊ぶなー!!



ピンチ!

筆がカチカチで
困った!

書写のピンチ! こんなとき、どうする?

ピンチ!

書写でどうやって
タブレット端末を
活用する?



デジタルとの親和性 (高)

実際に書くだけでなく、
タブレット端末を活用することで、
さらに学びが深まります。

こんな風に使ってみよう

- 動画を見て、筆使いを確かめる。
- 書くときの姿勢や
筆記具の持ち方を撮影し合う。
- 書いた文字を撮影し
記録を積み重ねることで、
自分の成長を確かめる。



「主体的な学習」がカギ

一人ひとり指導するのではなく、自分の課題に
気づかせる「主体的な学習」をめざしましょう。

単元の目標を示す

書くときのポイントを意識して
書いているか確認させる

教科書と見比べ、気づいた点を
教科書に書き込ませる

再度ポイントを振り返らせる



目が回る〜

教科書を見ろ〜



ピンチ!

一人ひとり指導する
時間が足りない!